

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール グループホーム菜の花 北丘珠館 3階 R4.3.25 札幌市提出

| No. | タイトル | 評価項目 | 自己評価 | 記述 | 運営推進会議で話しあった内容 | 外部評価 | 記述 |
|--------------------------|-----------------|---|--|--|---|--|--|
| I. 理念・安心と安全に基づく運営 | | | | | | | |
| 1 | 理念の共有と実践 | 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 「らしさを活かして笑顔の花を咲かせます」を理念として運営を行っている。ユニット内では毎朝理念の唱和を行い意識づけをしている。入居者様はもとより職員のらしさも大切にしている。 | | | |
| 2 | 事業所と地域とのつきあい | 事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 例年、町内会総会と新年会へ参加し、地域運営推進会議には入居者様や町内会の役員のみならず町内の方々、婦人部や老人会の方も参加され意見を頂いていたが、コロナ禍の影響で現在は停滞している。 | ・町内会にある施設として広報誌や回覧板に取り上げて頂いていただければ十分だと思う。 ・地域へ情報発信の回数が少ない。地域向けに発行している菜の花通信を2回から3回へ増やす。 | | |
| 3 | 運営推進会議を活かした取り組み | 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | コロナ禍により、リモート会議にて時間短縮で開催している。ご家族や地域の方々にリモート会議への参加を呼びかけているが地域包括の担当者へのみの参加に留まっている。ご家族や地域住民には書面、電話で意見を伺っている。 | ・書面やリモート等報告事項は利用者家族にも伝わっていると思う。 | | |
| 4 | 市町村との連携 | 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | コロナウイルスの感染対策において、札幌市や東区の介護保険課と密に連絡を取り、ワクチン接種や必要な備品等についてアドバイスをいただいている。 | ・公的機関との連携は大事である。 ・市町村担当者の方々と共に迅速に対応して下さる事を切に願っている。 | | |
| 5 | 身体拘束をしないケアの実践 | 代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 身体拘束等適正化委員会を発足して以来、委員会内の定期的な研修や検討が実施され、その内容をユニットに持ち帰り内部研修として職員に周知し、理解を深めている。 | | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ・運営推進会議で2回、身体拘束適正化委員会を3ヶ月に1回のペースで実施しており、内部研修も定期的実施しケアの見直しを図れる様努めている。 |
| 6 | 虐待の防止の徹底 | 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 虐待防止委員会の開催をはじめ、新人オリエンテーションカリキュラムにも組み込まれ、新人職員が一から学ぶ機会を作っている。ユニットにおいても内部研修で共有し理解を深めている。 | | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ・内部研修を通して虐待についての意識改革を行っている。また、定期的に面談を行い職員のメンタルケアを行っている。 |

| | | | | | | | |
|----|--------------------|---|--|--|--|--|---|
| 7 | 権利擁護に関する制度の理解と活用 | 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 内部研修にて学ぶ機会を設けている。現在制度を使用している入居者様はいない状況にある。 | | | |
| 8 | 契約に関する説明と納得 | 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 契約時は本社職員と管理者が同席し、不安や疑問点に応えつつ、信頼関係を構築している。料金改定、介護報酬改定時は文書や口頭での説明を都度行っている。 | | | |
| 9 | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 | 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほぼできている D. ほとんどできていない | コロナ禍の状況下ご家族の来訪制限もあり十分な機会がないが、書面発送や電話での意見聴取を行い、運営に反映出来るよう努めている。 | | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ・コロナ過で面会制限があり直接意見交換する機会は少なかったが、電話やリモート面会時に意見交換をする事ができた。引き続き電話での意見要望の聴取に努めていく。 |
| 10 | 運営に関する職員意見の反映 | 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 法人内による月1回の管理者会議にて意見、提案を聞く機会があり、ユニット内においても会議にて職員の意見を聞く機会がある。 | | | |
| 11 | 就業環境の整備 | 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 法人として各職員が向上心が持てるようキャリアパス制度の導入を急いでいる。また職員の実績、努力により研修参加を促しスキルアップに努めている。 | | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ・各諸手当や業務改善による残業の減少等で働きやすさやモチベーションが向上出来る様努めている。 |
| 12 | 職員を育てる取り組み | 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 今年度は認知症介護基礎研修2名、初任者研修2名受講済み。内部研修はユニット会議にて月1回開催し研鑽に努めている。 | | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ・初任者研修は3人実施し終了しており、今後も資格取得が出来る職員はスキルアップが出来る様にサポートが望まれる。 |
| 13 | 同業者との交流を通じた向上 | 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | コロナ禍の為、他事業所や他館との交流は行えておらず、東区管理者連絡会での情報共有などの一部に留まっている。 | | | |
| 14 | 本人と共に過ごし支えあう関係 | 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 入居者様の出来る事を継続して行うこと、意向実現に向けた支援を行っている。 | | | |

| | | | | | | | |
|-------------------------------------|----------------------|---|--|--|--|--|---|
| 15 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 | 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | コロナ禍の状況の為、面会制限していたが、リモート面会や電話での支援、書面を通じての伝達を行い、関係性の維持に努めている。 | ・ガラス越しの対面で元気そうな様子が見れて良かった。 ・電話で話す機会を作って頂いているのは素晴らしいと感じている。いつも細かく説明して頂くので感謝している。 | | |
| II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | | | |
| 16 | 思いや意向の把握 | 一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。 | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 介護計画更新時における意向確認や日常生活から聞き取り、ご本人の思いや望む生活が支援出来るように努めている。 | | | |
| 17 | チームでつくる介護計画とモニタリング | 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 日々の課題やケアのあり方を毎月各担当者がモニタリングし、チームで話し合い作成されている。気付きシートを活用し計画している。 | ・母の気持ち等を良く聞き、対応してくれているようで安心している。 | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ・モニタリングは計画作成担当者と毎月打ち合わせ時間を設け、意見交換や情報共有を行っている。 |
| 18 | 個別の記録と実践への反映 | 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | サービス内容を分かりやすく同一ファイルにまとめ日々の記録と実際のサービスが連動できるようにしている。チームケアとして共有し実践している。 | | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ・最終目標は職員全員が介護計画の原案を作成出来るようになる事であり、その目標に向け介護計画の一連の流れに関する内部研修を細かく分け行う事と介護計画のサービス内容をより分かり易いものにしていくことを期待する。 |
| 19 | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 | 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 専門医の受診など本人に必要な医療を受ける事ができるように柔軟な支援を提供している。 | ・必要な通院などは連絡下さる為、出来る時は協力したいと思っている。 | | |
| 20 | 地域資源との協働 | 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | コロナ禍の為、外出は出来ない状況であるが、近所散策や敷地内の畑など戸外での活動を取り入れ支援を行っている。 | ・母の好きな花の鉢の水やり等をして下さっている様で少しでも自分出来る事があるのは良い事だと思う。 | | |

| | | | | | | | |
|----|---------------------|--|--|--|--|--|---|
| 21 | かかりつけ医の受診支援 | 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 入居時に提携医療機関を提示し、選択出来るように希望や意向を大切にしている。月2回の訪問診療、24時間の支援体制で適切な医療を受けている。専門医受診時にご家族対応を原則としているが、情報提供の為に管理者同行、または書面にて伝えるようにしている。 | | | |
| 22 | 入退院時の医療機関との協働 | 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 入院時は介護添書を作成し情報提供を行っている。コロナ禍の中、面会が難しい状況にあるがご家族の情報や病院関係者と連携をすることで早期退院が出来るよう努めている。 | | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ・入院した際は病院と連携を図り、退院時にホームで安全に暮らせる様情報交換を密に行いほぼ出来ている。 |
| 23 | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 | 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 入居時、重度化した際の指針の説明、最期の意向を確認し同意を頂いている。年1度ご家族の意向確認と共に状態良好時からご本人に最期の意向、希望等聞き取りを行っている。また状態変化時は看取り介護指針に則り、都度主治医、ご家族との話し合いを設け意向確認、支援に当たっている。 | | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ・重度化や終末期には意向の確認をご家族や主治医と共に話し合いをしている。その情報を職員へ共有しターミナルケアの実践を充分に行えている。 |
| 24 | 急変や事故発生時の備え | 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 救急救命講習を職員全員が受講している。また本社作成の緊急時フローを都度確認し、実践に生かせる様にしている。館全体で緊急時、災害時に対応できるように夜勤前申し送りを合同で行い各入居者様の状態把握を行っている。 | | | |

| | | | | | | | |
|----|------|---|---|---|---|---|-------------------------------------|
| 25 | 災害対策 | 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない | 防災に関する避難訓練は今年度2回実施。コロナ禍の影響で避難に関する地域との協力体制はまだできていない。 | ・地域に発信していく事が大切であり、コロナが収束に向かえば、再び出来ると思える。 ・地域とは持ちつ持たれずの関係継続を願っている。避難については訓練が活かされる事を願いつつそのような事が起きない事を祈っている。 ・いつ災害が起こるか分からないが、訓練は大切な為、継続実施をお願いしたい。 | A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ・災害時のBCPや法人内のマニュアルの作成と災害対策がほぼ出来ている。 |
|----|------|---|---|---|---|---|-------------------------------------|

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

| | | | | | | | |
|----|--------------------|---|---|--|--|---|--|
| 26 | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 | 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない | 内部研修の中で学ぶ機会を設けており、新入職員オリエンテーション時においても言葉かけに対する指導を行っている。しかし職員全員が配慮し対応出来ているとは言い難い場面もある。 | | A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ・内部研修を通して話し合う機会を設けており、ほぼ出来ている。 ・職員の入居者様に対する姿勢や声かけの方法を見て学べる様、見本となる職員に接遇の指導をすることも大切であり、取り組みに期待する。 |
| 27 | 日々のその人らしい暮らし | 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 状態を確認し入居者様のペースに合わせた支援を行っている。レクリエーションを活発化やゆったりと過ごす日があったりなどと一人ひとりの希望ペースに添った支援を行っている。 | | | |
| 28 | 食事を楽しむことのできる支援 | 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 台所作業は入居者様の身体状況に合わせ座位で盛り付けを行ったり、短時間にて洗い物をして頂くなど無理なく楽しんで頂いている。 | | A. ③十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ・食事の盛り付けや片付けを職員と共に楽しみながら毎日実施する事が充分に出来ている。 |
| 29 | 栄養摂取や水分確保の支援 | 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 食事量・水分量はチェック表にて管理、調整している。水分摂取が少ない方にはゼリーを提供し、必要に応じて食形態を変え、栄養摂取に努めている。半年に1回口腔栄養スクリーニングを実施し、主治医への情報提供や職員間で共有している。 | | | |
| 30 | 口腔内の清潔保持 | 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 訪問歯科と連携を図りながら入居者様個々の口腔内の状態に合わせ歯間ブラシやスポンジで対応している。ご本人の力を活かすよう支援しその後は職員が仕上げを行っている。 | | A. ③十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ・口腔ケアの指導やご本人にあった歯ブラシを訪問歯科より指導を頂きながら適時対応する事が充分に出来ている。 |

| | | | | | | | |
|----|----------------|---|--|--|---|--|---|
| 31 | 排泄の自立支援 | 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 排泄チェック表を用い入居者様個々の習慣、能力に応じて誘導し、トイレ内外で見守り自立排泄を支援している。車椅子使用の入居者様においても自立支援をもとに支援を行っている。 | | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ・排泄チェック表やご本人のさりげないしぐさから排泄パターンを読み取り、排泄の失敗を減らせる様努めほぼ出来ている。 |
| 32 | 入浴を楽しむことができる支援 | 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 週2回を基本としているが入居者様の健康状態に合わせて行っている。同性介助を基本として、入浴前はバイタル測定、水分補給、湯温調整を行い入居様がリラックスできるよう支援している。入浴が困難な場合はシャワー浴、清拭で対応している。 | | | |
| 33 | 安眠や休息の支援 | 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 入居者様個々の体調、リズム、習慣に合わせて安眠ができるよう夜勤者が入居者様に寄り添い、安心して休息をとれるよう支援を行っている。日中の関わりや活動での適度な刺激や疲労で夜の眠りに繋げられるようにしている。 | | | |
| 34 | 服薬支援 | 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 入居者一人ひとりの受診ファイルで定期的な受診内容と薬剤情報を確認出来ている。頓服や薬内容の変更など申し送りや日誌記載で情報共有しており、服薬方法は状態に合わせて統一掲示している。 | | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ・服薬変更があった場合は職員全員が周知出来る様に薬保管箱や申し送りノートに記載し、また申し送り時も必ず薬を目視で確認し共有が充分に出来ている。 |
| 35 | 役割、楽しみごとの支援 | 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 趣味嗜好に合わせて週2回のレクリエーションを実施し入居者様と職員との良好な関係を築いている。個々の能力に応じ、お皿拭きやおかずの盛り付けなど役割や楽しみを持ち過ごされている。 | ・会話はとても大切であると思うので続けて欲しい。 ・母の好きな事等を知っていて対応を頂いている為、安心している。 | | |
| 36 | 日常的な外出支援 | 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 現在コロナ禍の中において、外出は出来ていない。代替として室内行事として内容を工夫してお祭りや外食の雰囲気味わって頂けるように対応を行った。 | ・コロナ禍では外出出来ないことは、仕方がないと思う。 | | |

| | | | | | | | |
|----|---------------|--|--|---|--|--|--|
| 37 | お金の所持や使うことの支援 | 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 従来は入居者様の状態に応じておやつの買い物や外出時のお土産を選び、レジでの支払いをして頂いていたがコロナ禍においては実施が出来ていない。 | | | |
| 38 | 電話や手紙の支援 | 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ご本人がご家族に連絡を取りたい時は、事前にご家族の理解を取り対応出来るようにしている。毎年、年賀状を送って下さるご家族もおられ、大変喜ばれ大切にされている。 | | | |
| 39 | 居心地のよい共用空間づくり | 建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 温湿度調整で風邪予防に努めている。装飾は季節感を大切にし入居者様にも参加して頂き飾っている。廊下には最近の写真を貼付。混乱しないようトイレや居室に自分で行けるよう工夫している。夕食後は入居者様同士団欒の時間を設けて穏やかに休めるような環境作りに努力している。 | | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ・季節を感じる事が出来る壁装飾を行い居心地良く過ごすことが出来る。またトイレや居室も看板を設置し、迷うことなく過ごす事が出来る。 |

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

| | | | | | | | |
|----|----------|---|--|--|--|--|--|
| 40 | 本人主体の暮らし | 本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 日常生活を通して希望や意向を吸い上げている。気づきシートを介護記録に設置し気づきやご本人の言葉を書き込み情報共有している。モニタリングやアセスメントに引用しケアに活かすようにしている。 | | | |
| 41 | | 本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 入居前に生活歴の収集、把握をすることで支援に活かしている。入居後においては、ご本人の様子や日々の何気ない会話の中から昔の習慣や好き嫌いなどを聞き取りケア、支援に繋げるよう努めている。 | | | |

| | | | | | | | |
|----|-----------|---|--|---|--|--|--|
| 42 | | 本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 月2回訪問診療、週1回弊社看護師による健康管理、週1回訪問歯科の支援により対応している。毎日のバイタル測定、食事や排泄の状況を把握し他職種との情報共有を通じ安全に努めている。ご本人の動向の変化に合わせてベッド位置、高さ、家具の配置など環境も都度調整している。 | | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ・訪問診療や週1回の訪問看護により健康チェックを行っており、情報を共有しながら必要時に早急な対応が出来る様努めている。 |
| 43 | | 本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 鉢植えの水やり、位牌に向かいおりんを鳴らす、午後の休息、起床、入床時間などは個々のペースに合わせて個性を尊重している。 | | | |
| 44 | 生活の継続性 | 本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 自宅で使用していた家具や愛用の物、写真などを一部自室に配置するなど安心感を持って過ごす事が出来るよう努めている。 | | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ・居室にはご本人のなじみの物を置いている。ご本人が望む物があれば都度ご家族へ連絡し居室へ置くことが出来るよう努めている。 |
| 45 | | 本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | コロナ禍において外出等を控えている状況にある為実施が出来ていない。館内での夏祭りなどの催しを開催し入居者様に楽しんで頂いた。 | ・写真越しであるが「お祭り」が見事に再現されていて素晴らしい。本人たちも心から楽しそうにしていると感じた。 ・お便りで行事の様子が分かるので楽しそうに参加していると思う。 | | |
| 46 | | 本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 夏場の畑作業や室内で洗濯物干し、座位でおかずの盛り付け、食器拭き、洗濯物たたみ、装飾作りを職員が間に入り一緒に行うことなどを習慣的に楽しむことが出来ている。 | | | |
| 47 | 本人が持つ力の活用 | 本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 入居者様同士でいつでも自由に話す事が出来るよう対応し、また自ら話すことが難しい入居者様に対しては、生活史やご家族から得た情報をヒントに話しかけ会話が弾み活動を促すように努めている。 | | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ・入居者様一人ひとりの出来る事を余暇時間や活動時間に取り入れており、ほぼ出来ている。 |
| 48 | | 本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | コロナ禍において地域との関わりが出来ていない状況にある。 | ・コロナ禍で仕方がないと思う。 ・近隣の保育園や小、中、高校と連携を図り運動会や発表会をリモートで参加できないかの検討。 | | |

| | | | | | | | |
|----|----|--|---|--|--|---|--|
| 49 | 総合 | 本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる | A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない | コロナ禍により地域交流やご家族との触れ合いが満足に行えていない状況であるが、職員との関わりにおいて安心が出来るように努めている。 | ・お便りや在宅確認表の下に様子を書いて下さっているのでもありがたいです。 ・自己評価が C となっているが、コロナによる外的要因を評価に入れなくても良いと考える。 | A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ・コロナ禍が長期化する中で地域、ご家族との関わりが出来ていないが特別な外的要因であり、制限化の中ご家族との共有を図ることが出来ている為、ほぼ出来ていると評価をする。 |
|----|----|--|---|--|--|---|--|